

## ティアレ 大動物用尿道カテーテル

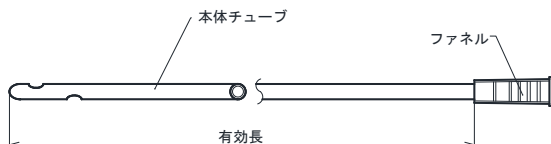
## 再使用禁止

**【禁忌・禁止】**  
再使用禁止。

## 【形状・構造及び原理等】

- ・本品はエチレンオキシドガス滅菌済である。
- ・本品はポリ塩化ビニル（可塑剤：フタル酸ジ（2-エチルヘキシル）を使用している。

## 〈形状〉



サイズ呼称	外径	有効長
18Fr	6.0mm	1500mm
24Fr	8.0mm	
30Fr	10.0mm	

## 〈原材料〉

ポリ塩化ビニル

## 〈原理〉

カテーテルを膀胱又は変更後の尿路へ挿入する。尿は側孔から内腔を通り、ファネルより排出される。

## 【使用目的又は効果】

尿道経由で膀胱に挿入又は留置し、導尿に用いる。

## 【使用方法等】

以下の使用法は一般的な使用方法である。

- ①外尿道口、外陰部を消毒（洗浄、清拭）する。
- ②本品を衛生的に開包し、尿道、膀胱に挿入する。
- ③カテーテル先端が膀胱内に達したと思われたら陰茎を下方へ倒すとファネルから尿が流出し始める。
- ④流出した尿を容器に受ける。
- ⑤カテーテルを更に3～4cm進める。
- ⑥カテーテルを抜去する場合は、ゆっくりと静かに引き抜く。

## 〈使用方法等に関連する使用上の注意〉

- ①本品を滅菌する場合は、オートクレーブ滅菌は行わないこと。  
[チューブ、又はファネルが破損する恐れがある。]
- ②絆創膏等を用いてカテーテルを固定した場合、固定を外す際は、ゆっくりと丁寧に剥がすこと。  
[粘着力の強い絆創膏等を用いた場合、剥がすときにカテーテルに過度な負荷がかかり、カテーテルが切断する恐れがある。]
- ③留置する場合には、患畜の容態及びカテーテルの状態を常に管理すること。  
[カテーテルが破損、逸脱する恐れがある。]

## 【使用上の注意】

## 〈重要な基本的注意〉

- ①カテーテル留置中はカテーテルの留置状態を適切に管理すること。  
[カテーテルの折れ、曲がり、捻れ、又は尿成分及び結石等により、

カテーテル内腔が閉塞する場合があります。]

- ②脂溶性の医薬品又は薬液等ではポリ塩化ビニルの可塑剤であるフタル酸ジ（2-エチルヘキシル）が溶出する恐れがあるので、注意すること。

[本品はポリ塩化ビニルを使用している。]

- ③本品を挿入する際は、粘膜等を傷つけないよう、患畜の状態を観察しながら慎重に行うこと。

- ④ファネルへの接続は確実にを行い、漏れがないか定期的に確認すること。

- ⑤ファネルへの着脱の際、チューブ部を引っ張って外さないこと。

- ⑥チューブを鉗子等の硬いもので挟まないこと。

[カテーテルの切断、ルーメンの閉塞を引き起こす恐れがある。]

- ⑦チューブが閉塞した場合は、詰まりを解消する操作は行わず、チューブを抜去すること。

- ⑧チューブ抜去時には、チューブ先端まで確実に抜かれていることを確認すること。

- ⑨本品を長期間使用した場合、チューブの硬化により抜去できなくなる恐れがある。本品の交換は一週間を目安に獣医師の判断のもと慎重に抜去すること。

## 〈不具合・有害事象〉

## その他の不具合

- ①汚染、接続不良

[感染を引き起こす恐れがある。]

- ②事故または自然抜去。

[下記のような原因による抜去の恐れがある。]

- ・激しい体動の患畜。
- ・その他上記事象等が要因となる複合的な原因。

- ③カテーテルの閉塞。

[カテーテル内腔が尿成分の付着や血塊等により、閉塞することがある。]

- ④カテーテルの切断。

[下記のような原因による切断。]

- ・ピンセット、鉗子、はさみ、メス、その他の器具での損傷。
- ・患畜の結石による傷。
- ・事故抜去等の製品への急激な負荷。
- ・絆創膏等を急激に剥がした場合に製品にかかる過度な負荷。
- ・その他上記事象等が要因となる複合的な原因。

## その他の有害事象

本品の使用により以下の有害事象が発症する恐れがある。

- ①留置中、カテーテルが逸脱した場合、貯留液が漏出することがある。

- ②本品の挿入時において、以下のような有害事象が想定される。

出血、感染、臓器損傷

## 【保管方法及び有効期間等】

## 〈保管方法〉

水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿、殺菌灯等の紫外線を避けて清潔に保管すること。

## 〈有効期間〉

適正な保管方法が保たれていた場合、個包装に記載の使用期限を参照のこと。

[自己認証(当社データ)による。]

## 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

## 〈製造販売業者〉

クリエートメディック株式会社

電話番号：0126-25-3777